

## 履歴書の記入要領

(1)履歴書

1. 「生年月日(年齢)」の欄の年齢は、令和6年11月1日現在で記入してください。

2. 「学歴」の欄について

- ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む。)を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
- ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記し、授与大学名・学位記番号まで正式に記入してください。
- ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- ④ 学生としての外国の大学や研究機関への留学歴についても記入してください。

(「学歴」欄記入例)

昭和〇年〇月	〇〇看護学校卒業
昭和〇年〇月	看護師免許(第〇〇〇〇号)
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業(〇〇学士)
昭和〇年〇月	中学校教諭一級普通免許保健昭和〇中一級普〇号(〇〇教育委員会)
昭和〇年〇月	高等学校教諭一級普通免許看護昭和〇高二級普〇号(〇〇教育委員会)
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇研究科(修士課程)入学
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇研究科(修士課程)〇〇学専攻修了 修士(〇〇学)
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇研究科(修士課程)〇〇学専攻単位取得満期退学
昭和〇年〇月	〇〇国〇〇大学大学院〇〇専攻(修士課程)(大学、専攻等の名称の原語を付記) 留学(昭和〇年〇月まで)
昭和〇年〇月	修士(〇〇学)(学位の名称を原語で付記)(〇〇国〇〇大学)
昭和〇年〇月	修士(〇〇学)(〇〇大学第〇〇号)

※学位名称は、学位記を確認し正式な名称を記載してください。  
なお、平成3年3月までは「〇〇学士」、それ以降は「学士(〇〇)」となります。

3. 「職歴」の欄について

- ① すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む。)を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
- ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
- ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学についても記入してください。
- ④ 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあっては、判定結果を含む。)を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
- ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

〔「職歴」欄記入例〕

昭和〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇学研究科研究生（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部助手（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇国〇〇研究所出張（〇〇〇〇のため）（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部専任講師「〇〇学」「〇〇演習」（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部非常勤講師「〇〇学」「〇〇演習」（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学〇〇学部〇〇学科専任助教授「〇〇学概論」「〇〇学演習」の資格有りとは判定
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科専任助教授「〇〇学概論」「〇〇学演習」（平成〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科専任教授「〇〇学概論」「〇〇学総論」（平成〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇国〇〇研究所客員研究員（文部省在外研究員）（平成〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において〇〇大学大学院〇〇研究科（修士課程）専任教授「〇〇学」「〇〇学特講」M合の資格有りとは判定
昭和〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科（修士課程）専任教授「〇〇学」「〇〇学特講」（現在に至る）

4. 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 「現在所属している学会」には、申請時において所属する学会の名称を記入してください。
- ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野に関連する事項を記入してください。
- ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

〔「学会及び社会における活動等」欄記入例〕

昭和〇年〇月	〇〇学会会員（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇学会会員（現在に至る）
昭和〇年〇月	〇〇学会理事（現在に至る）
昭和〇年〇月	〇〇県〇〇審議会委員（昭和〇年〇月まで）
昭和〇年〇月	〇〇学会第〇回〇〇大会〇〇分科会において座長を務める。

5. 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

〔「賞罰」欄記入例〕

昭和〇年〇月	日本〇〇学会〇〇賞（〇〇〇〇〇〇〇〇の功績について）
--------	----------------------------

6. 「職務の状況」の欄について

- ① 「現在の職務の状況」
  - ア 上段の「現在の職務の状況」の欄には、申請時現在における職務の状況について記入してください。
  - イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「-」を記入してください。

ウ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

## ②「開設後(就任後)の職務の状況」

ア 下段の「開設後(就任後)の職務の状況」の欄については、当該大学等に専任教員としての就任以降に、当該大学以外の職に従事する場合に記入してください。

イ 常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入してください。

ウ 他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に兼任、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名(全学共通の場合などは適宜わかるような表記)、「勤務状況」は週あたりの勤務日数を記入してください。

エ 大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。

オ 「名誉職」のような場合で、定期的な勤務のない場合は記入不要です。

カ オの場合を除き、勤務実態のある業務については記入漏れのないように注意してください。

キ 記入した業務のうち、常勤の職については、「教員就任同意書」を必ず添付してください。

(他大学の兼任教員、非常勤の職の場合は同意書は不要です。)

ク 記載内容は以下の例を参照し、実態が明確になるように記載してください。

(例)	[勤務先]	[職名]	[所属部局の名称]	[勤務状況]
	株式会社△△	常勤	〇〇サブチーフ	4日/週
	〇〇弁護士事務	常勤	所長	3日/週
	財団法人◇◇	非常勤	理事	1日/週

7. 日付は、提出日を記入してください。

8. 「氏名」の欄の印は、本人の署名をもって代えることができます。

## 教育研究業績書の記入要領

## (2)教育研究業績書

### 1. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表わすキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。
- ② 実務の経験を有する者(大学設置基準第14条第3号及び第6号、第15条第5号、第16条第2号に該当する者)としての審査を希望する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

### 2. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関連する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事業に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
  - ア 「1 教育方法の実践例」について
    - 授業外における学習を推進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
    - 司法研修所等の教育機関における教育経験
  - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
    - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
  - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
    - 採用決定の際等における評価内容
    - 各大学における自己点検・評価での評価結果
    - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
  - エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
    - 大学から受け入れた実習生等に対する指導
    - 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
    - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
    - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
  - オ 「5 その他」
    - 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
    - 国家試験問題の作成等
- ⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例
  - ア 「1 資格、免許」
    - 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格で、担当予定授業科目に関連するもの
  - イ 「2 特許等」
    - 特許、実用新案等で担当授業科目に関連するもの
  - ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
    - 大学との共同研究
    - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
    - 各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
    - 行政機関における調査官等

- 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等

エ「4 その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
  - 論文の引用実績等
- ⑥ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

3. 「研究業績等に関する事項」の欄について

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- ② 「著書、学術論文等の名称」の項について
- ア 研究等に関連する主要な業績を「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各実績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- イ 著書については、書名を記入してください。
- ウ 学術論文については、学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
- エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
- ③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
- ア 著書については、発行所を記入してください。
- イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ウ 学会発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥ 「概要」の項について
- ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
- イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ等を記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。